

特集1 進学に必要な費用について理解する

学費も重要な問題

— 保護者の皆様には 計画的な準備をお願いします —

大学進学を目指すには、受験勉強に加えて、事前にいろいろなことを準備しておく必要があります。その1つに「学費」の問題があります。比較的、学費が安いと言われる国公立大であっても、年間100万円以上の金額がかかります。私立大ではさらに高額です。学部・学科の種類によって多少の違いはありますが、いずれにしても大きな金額です。

学費に関しては、保護者の皆様の全面的な理解と協力が必要です。事前に情報を集め、計画的な準備をしていただきますようお願いいたします。



1 大学進学にはいくらかかるか？

国公立、私立を問わず、入学の際には、入学金、授業料、施設費、諸会費、実習費などが徴収されます。納入方法は、一括納入のほか分割制を採用する大学が多く、ほとんどが入学手続き時（入学金＋前期授業料など）と後期（後期授業料）の2回に分けて納入させています。

■ 「初年度納入金」を調べてみよう

「初年度納入金」とは、入学金や授業料、施設費、実習費、諸会費等、1年次に支払う学費全体のことです。国立大の場合は、どこでもほぼ同額となっています。公立大の場合は、設置する自治体によって金額が異なります。「地元在住者優遇制度」のある大学が多いので、福島県人が他の都道府県の公立大に入学すると、地元在住者よりも若干ですが高額になります。

① 国立大学（国立大学法人が設置する大学）

例 **福島大 東北大 東京大**

合計 81万7,800円（全大学ほぼ一律）

（入学金 28.2万円 授業料 53.58万円）

② 公立大学（各都道府県や市など地方自治体が設置）

例 **福島県立医科大 会津大**（福島県内の出身者は優遇される）

合計 81万7,800円

（入学金 28.2万円 授業料 53.58万円）

③ 私立大学 令和3年度の初年度納入金の平均額

（以下は文科省「令和3年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金調査」より引用）

・文系学部 合計 118万8,991円

（入学金 22万5,651円 授業料 81万5,069円 施設・設備費 14万8,272円）

・理系学部 合計 156万6,262円

（入学金 25万1,029円 授業料 113万6,074円 施設・設備費 17万9,159円）

◎ 私立大学の初年度納入金は、大学によって異なります。また、同じ大学でも、学部・学科ごとに差があります。必ず各大学の公式HP等で確認をしましょう。

歯学部	449万8,551円
医学部	510万7,652円
薬学部	207万3,550円
芸術学部	164万6,143円
保健・看護学部	150万8,041円
農・獣医学部	146万8,730円
理・工学部	150万4,662円
文・教育学部	120万3,377円
法・経・商学部	118万0,420円



2 各種「受験料」も高額です

■ 各種受験料

共通テスト（3教科以上）成績開示あり	18,800円
共通テスト（2教科以下）成績開示あり	12,800円
国立大学（個別学力試験（2次試験））	17,000円
公立大学（個別学力試験（2次試験））	17,000円
私立大（文・理系（一般入試））の平均	約35,000円

例 国立大2校（共通テスト＋2次「前期日程」・「後期日程」出願）と私立大4校を受験する場合

① 受験料 19万2,800円 + ② 交通費・宿泊費

3 生活費（「ひとり暮らし」）も想定する

自宅外生の住居費は全国平均53,920円で、特に首都圏で非常に高くなります。仕送りの全国平均額は71,880円で、首都圏ではさらに高額となっています。

（「大学生協 2021年第57回学生生活実態調査 概要報告より」）

さらに、大学での授業に必要な「書籍代（教科書代）」は、高校とは比較にならないほど高額です。近年では、パソコン、タブレット等の購入費やネット回線使用料などの経費も必要となります。



